



2022年9月12日

各 位

会 社 名 阪急阪神ホールディングス株式会社  
代表者名 代表取締役社長 杉山 健博  
(コード番号 9042 東証プライム)  
問合せ先 グループ経営企画室 経理部長 上戸 健司  
(TEL. 06-6373-5013)

### 特定子会社の異動に関するお知らせ

当社の子会社である阪急阪神不動産株式会社（以下「阪急阪神不動産」という）が同社の子会社として2022年8月5日に新設したCPM Assets Japan 合同会社（以下「CPMAJ社」という）は、インドネシアの西ジャカルタにある大規模商業施設セントラルパークモール（以下「本物件」という）を取得することを目的に、本物件の区分所有権（15%）を保有するPT CPM ASSETS INDONESIA（以下「CPM社」という）の株式を取得し、CPM社の増資引受を行うことを本日決定しました。

それを受け、CPM社は、本物件の開発者であるPT Agung Podomoro Land, Tbk（以下「APL社」という）から現物出資と売買により、本物件の残りの区分所有権（85%）を取得することにしており、取得後のCPM社の株式持分については、CPMAJ社が71.4%、APL社が28.6%となります。

その結果、CPM社の資本金額が3,400,747,495千ルピア（30,994,782千円）となり、当社の資本金の額の100分の10以上に相当し、当社の特定子会社に該当することになりますので、お知らせいたします。

### 記

#### 1. 株式取得の理由

阪急阪神ホールディングスグループでは、「阪急阪神ホールディングスグループ 長期ビジョンー2040年に向けてー」を策定し、その実現に向け、「関西で圧倒的No.1の沿線の実現」をはじめとする4つの戦略を定めていますが、その一つとして、「沿線事業モデルの展開エリアの拡大」を掲げております。この戦略のもと、海外における不動産事業では、沿線で培ったノウハウを活かして、経済成長が見込まれるASEANを中心に、外部パートナーと連携を図りながら、分譲・短期回収型・賃貸等のそれぞれの事業で規模拡大を目指しております。

このうち、賃貸事業については、2019年にインドネシアのジャカルタ中心業務地区に所在する複合施設プラザインドネシアコンプレックス等を保有・運営する現地事業体に出資しましたが、今般、それに続いて本物件を保有するCPM社を子会社化し、当該施設の運営管理を主導していくことで、施設の価値向上を図るとともに、ASEANにおける同事業の基盤構築を進めてまいります。

#### 2. 異動する特定子会社の概要

|               |   |
|---------------|---|
| (1) 名 称       | PT CPM ASSETS INDONESIA   |
| (2) 所 在 地     | Jln. Letjen S Parman Kav 28 RT 012 /RW 006,<br>Tanjung Duren Selatan, Grogol Petamburan Kota Adm Jakarta Barat, DKI Jakarta |
| (3) 代表者の役職・氏名 | President Commissioner: Robert Andriessen<br>President Director: Hendra Batubara  |
| (4) 事 業 内 容   | インドネシアにおける商業施設の保有・賃貸  |
| (5) 資 本 金     | 100億ルピア（約91百万円）（注1）   |

|   |   |              |             |           |
|---|---|--------------|-------------|-----------|
| (6) 設 立 年 月 日                             | 2019年10月21日   |              |             |           |
| (7) 大株主及び持株比率                             | Prosperity Queen Limited 99.9% (9,990株)<br>Peripheral Holdings Limited 0.1% (10株) |              |             |           |
| (8) 上場会社と当該会社との間の関係                       | 資 本 関 係   | 該当事項はございません。 |             |           |
|   | 人 的 関 係   | 該当事項はございません。 |             |           |
|   | 取 引 関 係   | 該当事項はございません。 |             |           |
| (9) 当該会社の最近2年間の経営成績及び財政状態 (単位未満切り捨て) (注2) |   |              |             |           |
| 決算期                                       | 2020年12月期   |              | 2021年12月期   |           |
|   | (千ルピア)  | (千円) (注1)    | (千ルピア)      | (千円) (注1) |
| 純 資 産                                     | 6,159,879   | 56,141       | -9,908,564  | -90,307   |
| 総 資 産                                     | 875,157,341   | 7,976,279    | 859,088,287 | 7,829,823 |
| 1株当たり純資産                                  | 615   | 5            | -990        | -9        |
| 売 上 高                                     | 864,552   | 7,879        | 41,061,927  | 374,242   |
| 営 業 利 益                                   | -3,823,943  | -34,851      | -16,068,443 | -146,449  |
| 経 常 利 益                                   | -3,823,943  | -34,851      | -16,068,443 | -146,449  |
| 当 期 純 利 益                                 | -3,823,943  | -34,851      | -16,068,443 | -146,449  |
| 1株当たり当期純利益                                | -382  | -3           | -1,606      | -14       |
| 1株当たり配当金                                  | -   | -            | -           | -         |

(注1) 109.72 ルピア/円 (2022年6月30日の為替レート) で計算しています。

(注2) 設立より3年間を経過していないため経営成績及び財政状態は直近2年間の開示としております。

取得前のCPM社は本物件の一部(15%)のみを保有しておりましたが、本物件の残りの区分所有権を取得した後は、売上高・利益等は増加する見込みです。

なお、取得前のCPM社は、土地・建物についてインドネシアにおける法定耐用年数(20年)で減価償却を行っています。

### 3. 株式取得の相手先の概要

取得先(Prosperity Queen Limited及びPeripheral Holdings Limited)については、譲渡契約における守秘義務条項に基づき開示を控えさせていただきます。なお、当社と譲渡先との間には、特筆すべき直接の資本関係、人的関係及び取引関係はなく、また当社の関連当事者にも該当いたしません。

### 4. 株式を取得する当社子会社の概要

|               |                       |
|---------------|-----------------------|
| (1) 名 称       | CPM Assets Japan 合同会社 |
| (2) 所 在 地     | 大阪市北区芝田一丁目1番4号        |
| (3) 代表者の役職・氏名 | 職務執行者 松田富行            |
| (4) 事業内容      | 海外における不動産資産保有会社への出資   |
| (5) 資 本 金     | 1百万円                  |

CPMAJ社は、阪急阪神不動産が完全子会社として設立しましたが、2022年11月を目途に、第三者よりCPMAJ社への出資を受け入れるとともに、阪急阪神不動産が出資の払戻を受けることにより、阪急阪神不動産のCPMAJ社の持分は51%となることを計画しております。

### 5. 取得株式数、取得価額及び取得前後の所有株式の状況

|               |  |
|---------------|--|
| (1) 異動前の所有株式数 | 0株(議決権の数0個、議決権所有割合0%)  |
| (2) 取得株式数     | 2,142,657株(議決権の数2,142,657個)                                  |
| (3) 取得価額      | 28,124百万円<br>取得価額につきましては、株式取得・増資引受の対価に加え、デューデリジェンス費用を含んでいます。 |

|               |  |
|---------------|--|
| (4) 異動後の所有株式数 | 2,142,657株 (議決権の数2,142,657個、議決権所有割合71.4%) (注1) |
|---------------|--|

(注1) 残りの議決権28.6%は、本物件の開発者であるAPL社がCPM社に本物件の一部を現物出資する対価として取得し、阪急阪神不動産のパートナーとして引き続き当該施設の運営に関与いたします。

## 6. 日程

|                       |                 |
|-----------------------|-----------------|
| (1) C P M A J 社 決 議 日 | 2022年9月12日      |
| (2) 株式譲渡・増資契約締結日      | 2022年9月15日 (予定) |
| (3) 株式譲受・増資引受実行日      | 2022年9月22日 (予定) |

## 7. 今後の見通し

CPM社及びCPMAJ社は2023年3月期中に当社の連結子会社となる見込みですが、当社の当期連結業績への影響につきましては、軽微であると判断しています。今後公表すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上